

令和4年度 第2回 前橋市教育情報システム利活用推進委員会 会 議 録

日 時 令和4年1月13日（木） 午前10時00分から午前12時まで

場 所 前橋市役所 11階 南会議室

出席者

No.	役職	氏名	備考 (利活用推進委員会内役職)
1	前橋市教育委員会 教育長	吉 川 真由美	委員長
2	前橋市教育委員会事務局 教育次長	藤 井 一 幸	副委員長
3	” 指導担当次長	都 所 幸 直	副委員長
4	” 総務課 課長	片 貝 伸 生	委員
5	” 学校教育課 課長	相 原 吉 次	”
6	前橋市未来創造部 情報政策課 課長	岡 田 寿 史	”
7	前橋市小学校校長会 会長 (前橋市立広瀬小学校 校長)	金 井 英 男	”
8	前橋市中学校校長会 会長 (前橋市立東中学校 校長)	庭 山 まゆみ	”
9	前橋市公立学校教頭会 会長 (前橋市立荒牧小学校 教頭)	齊 藤 裕 徳	”
10	群馬大学副学長（IT・データサイエンス担当） 兼 群馬大学数理データ科学教育研究センター長	浅 尾 高 行	” 外部専門家 オンライン出席
11	前橋市教育委員会事務局 総務課情報教育推進室 室長	黛 正 人	庶務
12	” 係員	竹 内 三 保	”
13	” 係員	上ノ内 栄	”
14	” 係員	清 水 亮 介	”
15	前橋市教育委員会事務局 青少年課 課長	阿久澤 正 彦	オブザーバー
16	前橋市教育委員会事務局 前橋高等学校 事務長	高 橋 之 彦	”
17	” 総合教育プラザ 館長	金 井 幸 光	”
18	” 総合教育プラザ 館長補佐兼教育研修センター所長	高 橋 志 保	”
19	” 学校教育課 課長補佐兼指導係長	田 村 裕 之	”
20	前橋市未来創造部 情報政策課 情報政策係 教育情報ネットワーク担当係長	大 塚 範 之	”

総務課課長 | 1 開会

教 育 長 | 2 教育長挨拶

4月からGIGAスクールが計画どおり開始された。まもなく1年が過ぎようとしているが、学校訪問で拝見する授業では想像していた以上に教育現場で活用されている。こんな風に活用されているのかと驚くことも多々あった。100%前橋市が想定していたとおりはいかないこともあり、試行錯誤が続いている。全国教育長会議のオンライン研修の中で、どの市町村も試行錯誤の状況であることを聞いた。

本日は現状について報告させていただき、さらなる学びの充実を目指して、様々な検討をいただきたいと思う。忌憚のないご意見をお願いしたい。

本日は子供達が使っているiPadにて、Google classroomを通じ資料を配布している。私も子供達や先生方に遅れないようにしていきたいと思う。本日はよろしくお願いしたい。

総務課長 | 議会の委員長については、本委員会の設置要綱に基づき、教育長にお願いしたい。

教 育 長 | 議長を務めさせていただく。皆様のご協力をお願いしたい。

3 報告事項

(1) 各部会の取組状況について

ア ICT基盤整備部会

情報教育推進室 長 | 資料1から3を基に説明。

指導担当次長 | 10月からGIGAスクールサポーターが6名増員になったが現場の先生方の感想や具体的に良かった点などをお聞かせ願いたい。

破損の円グラフがあったが、鞆の中の内圧で割れることについて、具体的な対応を学校現場にどのように周知を図っているか伺いたい。

前橋市小学校校長会会長 | 各学年、クラス毎にきめ細かく対応していただけて良かったと思っている。機器の活用については、子供たちは使い慣れており、強固なケースのおかげでかなりの破損は防げている。子供達は順調にきているが、教員用端末にはカバーがないので対応に苦慮している。

前橋市中学校校長会会長 | 10月からいろんな行事ができるようになり、そこでGIGAスクールサポーターさんに色々お手伝いをしていただいたことが非常にありがたかった。例えば、学校行事を録画して配信していただいた事は、現場の業務の軽減になり、先生方も非常に感謝していた。

破損については、中学生は非常に教科書や資料集が多く、そこに無理やりタブレットを入れて、画面が割れたこともあったので、極力学校に置いていけるものは学校へ置いていくように指導し、来年度の1年生からはタブレットが入る縦型の通学鞆に変え、破損を減らしていこうと計画している。

前橋市公立学校教頭会会長 | GIGAスクールサポーターについては、ICTが苦手な先生もいるので、ありがたいとの声が上がっている。今まで1週間に半日だったが、回数が増えたので、子供達にとっても良い影響となっている。

破損については、どこに置いたら良いかなどを徹底できてないところもあるので、子供達の発達段階に応じて、どのように使わせるか、プロジェクトチームで考え、活動を始めたところである。家庭については、教育委員会で作成したプリントなどを活用しながら、対応を進めている。

情報教育推進室 長

画面破損が多いので、段ボールを画面型に切ったものをはめて使用すれば破損防止になるのではないかと、10月の教頭会議で提案させていただいた。更なる呼びかけや注意の徹底を進めていく必要があると考えている。

イ 校務支援部会

情報教育推進室 長

資料1、5及びICT基盤整備部会について、資料4を基に説明。

前橋市小学校校長会会長

資料4の通信量の事とも関係するが、今年度、本校は教科別の指定を受けたので、特活の授業を配信して、発表後に見ていただいた。今後もコロナの影響により、様々な場面で動画などを配信する場面が多くなる。例えば行事などを配信する場合にかなりの通信量がかかってくると思うが、学校行事を含めた動画の配信のルール、見直しについて伺いたい。

情報教育推進室 長

現状では学習参観等の配信について、学校からいくつかいただいた質問としては、著作権上問題ないのかという事と、データ通信量の部分があるかと思う。著作権上は一定のお金を市で払っているので、クリアしている。

データ通信量については、資料4右上のとおり、まだ余力がある状況であるので、それほど心配はないが、月ごとに約120テラバイトという上限があるので、情報教育推進室で使用状況を見ながら、足りなくなってしまう場合には、学校にお願いして、制限をしていただくことも考えている。

コロナが蔓延してくると、学校毎にオンライン授業配信が行われることが想定されるので、そういった状況も踏まえて、各学校には柔軟にお願いしたいと考えている。現時点ではこれは良いがあれはダメと言うのは決めていない。

前橋市小学校校長会会長

授業参観等もあるので、教育委員会と相談しながら進めていくということ承知した。

総務課長

通信量が多い児童生徒へ改善に向けて指導しているとあるが、資料にはないが、なぜ通信量が多いか事務局側で把握しており、ほとんどが動画を見ているということでのよろしいか。端末を有効活用して、通信量が増える分には構わないが、原因が個人的にYouTube等で動画を見続けているというところで、健康面を含めて心配されるので指導が必要という趣旨である。

浅尾委員

ずっと動画を見ているというのは本来の趣旨ではないので、対策をした方が良い。

教育長

今後検討を重ねていきたい。

指導担当次長	今の関連だが、毎月50人位が対象になっているとのことだが、特定のお子さんなのかそれとも入れ替わってきているのか。
情報教育推進係 員	新規対象者と書かれている下の太枠の四角が新しく対象になった子になる。例えば、12月に新規対象者16人とあるがこの子達は11月まで該当しなかった子であるので、毎月少しずつではあるが新しい対象者が増えている状況である。
指導担当次長	常習化しているお子さんに対するしっかりした指導と、たくさん使ってしまうことが新たに起きないための指導との2通りを考えていかななくてはならないと思うので、情報教育推進室だけでなく、青少年課の力も借りながら、学校とPTAも含めてみんなで協力体制を作って進めていかないと難しいと思う。強制的に使用時間を決め、切ってしまうだけでなく、子供達の自制心を高めていかななくてはならないと思うので、課を跨いで連携していくことが必要だと思う。
情報教育推進室 長	その点については、検討事項で提案させていただくが、それ以外にも連携を進めていきたいと思う。
前橋高等学校 事務 長	タブレットの破損には、やむを得ない場合と故意に壊した場合があるかと思うが、故意に壊した場合は、保護者に請求がいくことになると思うが、線引きが難しい事例があれば伺いたい。
情報教育推進室 長	今まで保護者負担にした例が20件ほどある。子供同士が喧嘩をして、タブレットが入っているランドセル等を殴ったり蹴ったりしたことによる破損の場合は、学校管理下ではあるが破損することが想定されるのに、してしまったということで両方の保護者に負担をお願いした事例がある。 悩ましかった事例が、家でソファの上に子供がタブレットを置いておいたら、その上にひざ掛け等がかかっており、タブレットが見えない状態だったため、親が座り、破損してしまった。親からは見えない不可抗力であるため、無償とした例がある。ただ、床の上に子供が放置していたタブレットを親が踏んでしまったとしたら、さらに判断が悩ましい。負担を求めることになるのかどうか。事例を積み上げて、それを基に今後考えていただくことを考えている。
総務課 長	報告の中で学校でのclassroomによる教材配布、お便りの配布などを電子化していただいている。それにより、印刷の手間が省けたなど、先生方の実感をお聞きしたい。
前橋市小学校 校長 会 会 長	学校だよりはデータの配信と紙の配布を併用しており、学級だよりは配信と必要に応じて紙で配布している。学校から配信したもので保護者には是非見て欲しいものについては、おれんじめーるで見てもらうように呼びかけている。市からの配布物が電子化になったのは非常にありがたい。担当、教頭も喜んでいる。
前橋市中学校 校長 会 会 長	子供の顔が写る写真が入ったお便りについては、なるべく紙にしているが、ほとんどはデータ配信で本当に助かっている。チラシ類を分けて配布することがなくなったので、実感として業務が減った。校務補助員さんに他の事をお願いできるので、そこは非常に助かっている。保護者の方がスマホで見られるように設定してあれば良いが、子供のタブレッ

トだけだと本当に伝わっているのか心配になるので、これだけはこのものを配信した場合は、おれんじめーるで必ず確認してくださいと保護者に伝えている。

前橋市公立学校教頭会会長

印刷担当である教頭としては大変助かっている。

指導担当次長

おれんじめーるは結構出すのか。

前橋市小学校校長会会長

なるべく数を減らしている。
学校評価のことだが配信したものと親の端末で見られるものが違っていた。学校から送る際に親の端末からどう見えているのか確認した方がよいなということがあった。

前橋市公立学校教頭会会長

PTAのみなさんも印刷物が減ってかなり喜んでいる。

前橋市中学校校長会会長

google フォームのことでお聞きしたい。学校評価などアンケートはフォームを使うと集計が楽であるが、回収率が良くなく、誰が出したか分からないなど、そこが困っている点である。

教 育 長

県教育長会議でも配信はなるべくタブレットを使ってとの話があったが、これは100%を目指せば良いのか、私は分からないと思っており、やはりケースバイケースである。タブレットで送信をすることが目的ではなく、確実に保護者の方に伝えたいことが伝わる、学校に伝えたい情報が伝わるということが利用の目的ではないかと思う。意見をいただきながら、改善を進めてまいりたいと思う。

学校教育課長

ウ 授業支援部会

資料6を基に説明。

前橋市小学校校長会会長

子供の活用については、うまくいっている。私が思うのは、授業を他の先生に見てもらうとか研究会等でその学校に集まらずに見られるようになるとか、そんなことも今後、研修を進めていければ良いと思っている。その際にネックになるのは音声だと思う。授業で音を取ると全部音が入ってしまい、指向性のマイクで必要なところだけを取っていかないと授業として見られない。その辺りを改善しながら、授業を見るということをやっていきたい。子供の方は、活用はかなり進んでいて継続していききたい。

前橋市中学校校長会会長

いろいろな活用の事例を紹介していただきありがたい。先生方が見る時間を作っていききたいと思った。

前橋市公立学校教頭会会長

今年度本校では計画訪問があった。その際に指導主事からICTを使っているけれども、主体的な深い学びになっているのか、個別最適化された学びになっているかと、ご指導いただき、教員たちは授業を振り返り、反省をし、そこでいろいろ深まってきたと思う。

研修の方はオンラインで研修していただいていることで、複数の教員が視聴することができるので、広がりがかかなり違うなど思っている。参加できなかったスタッフには、参加したスタッフが議事録的なものを作

成し、C4th でアップし、シェアをすることもしている。爆発的という訳ではないが本校では研修の成果が表れていると感じている。校内研修の中で取り入れたりしながら、充実したものになっている。

総務課長

小学校校長会会長からも提言いただいた、これからは音声が授業をする上で、非常に重要になるとのアドバイスだが、そういった声を現場の方からたくさんいただいております、この度、国の補正予算の補助金を取り入れて、ヘッドセットの購入を進めている。ある一定数が学校に渡るように用意をしているので、後程、手当できると考えている。

指導担当次長

「広がるタブレットひろば」、「つながる ICT ひろば」の資料が載っているが、この2つはタブレットで見ることができるのか。C4thにも先生方が相談や情報を掲示する場所があるが、どこを見にいけば良いか、充実するあまりに選びづらくなって、先生方が活用しにくくなっていることはないということでしょうか。ここを見れば何でも役に立つというようなものが一番良いと思うがいかがか。

情報教育推進室長

枠として我々が作らせていただいたが、元々のデータはC4thにある、あるいは各所属が google ドライブで共有をにかけていたものが点在をしていたので、タブレットで見られるサイトを立ち上げ、そこへリンクを繋いでいき、様々に点在していたコンテンツを1か所から見られるようにしたいと考えた。そのため、今回立ち上げたサイトは教師用のタブレットで見られ、点在しているものをひとまとめに見られるというイメージと考えていただければと思う。

今後、新たなコンテンツが作られたら、基本的には google ドライブ等で動画は共有されることが増えてくると思われるので、点在しているものを集めて、見やすく使いやすくしていきたいと考えている。

学校教育課長

授業支援部会の方で話題に出たので、C4thにもあるが google サイトの方が、先生方が活用しやすいとの意見が出て、作っていただいたという経緯もある。

浅尾委員

会議をオンラインでやるのがテーマかなと思う。我々では議事録は会議をしながら、その場で作っていくと言うのが一般的であるので、google を使えば、いろんな人が同時に書き込みをしながらできるので、次の回は、オンラインでみなさん参加して、試してみたらいかかと思う。各校の校長先生が自ら使っていただくことが、教育にとっても生徒にとっても、先生も使っている、こういう時代だということが分かるので、ぜひご検討いただきたい。

教育長

次の委員会では更なる進化が遂げられると良いと思う。とにかく機会を捉えて使って行って欲しいということでしょうか。

(2) 情報資産分類の見直しについて

情報教育推進室長

資料7を基に説明。

前橋市小学校校長会会長

資産の分類と合わせて、紙ベースで処理するものとデータで処理するものを、もし、見直しいただければ、教頭、校長、事務も助かる。今まで、これは紙でやっていたけれど、C4th で良いなどになるとありがたいと思う。こういったことも含めて検討いただけるとありがたい。

浅尾委員 思ったより紙が負担になっていたことが実感として見ていただいたことが大事だと思う。現場の声を皆さんに伝えていき、どんどん進めていくような方策を取っていければ良いと思う。

教育長 現場の声を聞きながら進めていきたいと思う。

4 検討事項

(1) 教育情報システム利活用推進委員会体制の一部変更について

情報教育推進室長 資料8を基に説明。

青少年課長 生徒指導上の問題も絡んでくると思うので、基盤整備部会に入れていただけると助かると思うので、よろしく願いたい。

情報教育推進室長 青少年課長に基盤整備部会に入っていたので、要綱を改正させていただこうと思う。また、青少年課支援センターにもどこかの部会で関わっていただくことになるのでよろしく願いたい。

(2) 教職員・児童生徒・保護者向けアンケートの実施について

情報教育推進室長 資料9を基に説明。

指導担当次長 ドリルパークについてだが、小学生の方が中学生よりも活用が高い事がグラフから分かる一方で、実際には問題数や内容などが中学生には易しいとの声が聞こえてくる。個別最適化の学習を求められている中で、ドリルパークの活用というものが現場の中で定着していき、子供の中でも自主学習が支えられていくというものになっていくのかどうなのかということを、第2回目のアンケートの中で検証していく必要があると感じている。中学校でのドリルパークの活用を伺いたい。

前橋市中学校校長会会長 ドリルパークを中心とした家庭学習は、正直に言えばあまり行われていない。例えば、朝学習や復習目的で授業の最後に使うなど、先生によって、活用の仕方に差があると思う。実際、子供の勉強の仕方として、書くという事が大事な事であると考えている先生も多いので、やはりタブレットを活用してドリルパークを十分に使うというところには至ってないと感じる。

教育長 知識の定着の把握をするには、ドリルパークが良いと思うが、書くという作業をどういう風にしていけば良いのかという事は、私も学校の先生方に伺ってみたいなと思っていたところだ。今後ご意見をいただけたらと思う。ムーブノートの使用が少なかったということだが、ムーブノートというのは、みんなでページを集めるようなイメージで、みんなが他の人の考えを知る、みんなに考えを知らせるというようなアプリなのか。

情報教育推進室長 オクリンクも同じような位置付けがあるが、オクリンクの方が簡単に使えてシンプルで、ムーブノートはそれをさらに高機能化し、文字を抽出し、集計してみたり、いろんな子供が書いたものを重ねてみたり、分布図を作ったり、多機能である。先生方はまずは、ドリルパークやオクリンク、googleが無償で出しているジャムボードなど、シンプルなものから始めていただき、ムーブノートの活用は今後の伸びしろであると考えている。

教 育 長	指導係長に計画訪問などの活用状況を伺いたい。
学校教育課 指導係長	<p>計画訪問で各学校の授業を参観している。その中で、ICTの活用、特にオクリンクなどは非常に良く使われている。子供達の意見をオクリンクで集めて、共有して、お互いその意見を見合うことができる。特に最近では、付箋のように出てくる一人一人の意見を色分けして、賛成の色は赤、反対の色は青ではないが、色分けすることによって、一つの画面でどのくらい賛成と反対がいるか一目瞭然で分かって、そこで討論してまた考えが変わるといような活用の仕方もあり、先生方が非常に努力をされて、子供達もより深まるような勉強ができるようになってきていると考える。</p>
教 育 長	<p>学校現場で有効にこのアプリを使っていただけるよう、私たちも使い方など共有させていただけると良いのかなと考えている。アプリが有効ではない訳ではなく、先生方は活用の段階を次の段階と捉えているかもしれないので、2月のアンケートにも注目をしていきたい。</p>
浅 尾 委 員	<p>昔は恐らくなかったことが現実的になっているという気がした。データそのものを取ることが今まで大変だったので、難しかったと思うのだが、データを見て、これはどうなのだろうかと考えるという事は、今まであまりなかった。今後は例えば、このアプリは使い方が悪いのではないかと、データが見えるという事で、格段的に教育現場で直結するような対応で検討が行われるようになったのではないかと思う。</p> <p>皆さんの努力の結果だと思うが、現場の先生方がどの位使えているか、回答されなかった方がどのように考えているかが問題になると思う。使って良いと思っている人は学校で回答するから集まるので、今、パーセントを見てみても分かるのだが、恐らく全然使っていない先生方、使い方に困っている先生方もいると思うので、だんだんそういった人達は少なくなってくるとは思うが、そのところに積極的に働きかけるような検討を進めていけば、もっと早く進むのではないかと思った。</p> <p>ICTはあくまでも道具なので、どうやって使ったら良いかというものだと思う。現場の先生方が使っているところを、校長先生を始め、認めていただき、推進していくというところを方針として出していただくと良いと思う。</p> <p>医学部でイーラーニングやICTを使った教育などを積極的に使っている先生方がたくさんいる。しかし生徒の方が先に進んでいる場合もある。そういったような現実をしっかりと見て進めていくことが大事なのではないかと思う。</p> <p>1年間見せていただき、非常に進んだのではないかと思う。やはりみなさんの意識が変わってきたのではないかと思う。うちの大学でも、大学全体として取り組んでいくという方向であり、私が担当であり、その方向にもっていくので、ぜひ現場の先生方にも参加いただきながら取り組みたい。今後は新しい教材を知っているという事も大事だし、今、Googleがメインで使われていると思うが環境に合うようなアプリやサービスが必要だと思うので、そういったことも含めてみなさんと勉強していきたいと思っている。今日は非常に参考になったし、今後、我々がやっていかなければならない方向性というのがだんだん明らかになってきたと感じている。</p>
教 育 長	<p>データなどエビデンスに基づいた取り組みを進めるということがとても大事だと思っている。私達もデータの分析の方法などを向上させてい</p>

けたら良いと思っている。また、先生方の豊かな経験によって、これまで子供達は学んできたが、先生方の豊かな経験に加えて、エビデンスに基づいた新たな学びの充実も図れたら良いと思っている。

浅尾先生、本日は大変ありがとうございました。

浅尾委員退席

(3) 学習者用端末の年次更新スケジュール等について

情報教育推進室 長

資料10を基に説明。

情報教育推進室 長

以前から何回かお聞きしている、高校の合格発表の時のタブレット持参問題について、子供達が合格発表の時にタブレットを持ってきて、休み時間や授業中にこっそり見て、学校が伝える前に知ってしまう、それを何とか防げないかというご意見をいただいている。今、考えているのは、その日の昼間だけ、県立高校や私学のサイトをフィルタリングでブロックし、夕方以降は家に帰って見られるので構わないとする。学校に行って、タブレットを持っている間だけ見られないようにするという対応を考えているがそれでもよろしいかどうか伺いたい。

指導担当次長

その件については、もう少し学校の先生方の意見を参考にして、決めていった方が良いのではないかと。私は中学校の教員だったが子供達が高校の合否判定を聞いて、残念だった子は落ちこんでしまった中で、その日の授業を受けなければいけない。そういったことが起こらないよう、子供達への配慮のため、放課後に個々に伝えており、子供達を大事に思うが故にやってきていることなので、慎重に扱っていただきたいと思うので、この場での協議はやめておいた方が良い。

情報教育推進室 長

承知した。準備としてはそういった手立てが取れるように進めている。

前橋市小学校校長会会長

中3のタブレットのケースだが、卒業後に使う道もないかと思うがどのように扱っていく予定か確認したい。

情報教育推進室 長

ケースの扱いについては、改めてこうする等は決めていないが、当初の予定では、購入していただいた物なので一旦お返しをすることを原則としている。その中で例外的にいらぬとのことで学校に持ってくるということもあり得ると思う。その辺りの扱いはこの後検討して、お伝えしたいと思う。フィルムだけは剥がして返すものではなく、同意書に書かれていたとおり、フィルムは剥がさずにお返しくださいと当初からお願いしている。ケースのみを返すこととなる。

指導担当次長

今年は買ったばかりで新しく、今は学用品など、リユースしたらどうかという話も出てきているので、ご家庭で買っていただいたものではあるが今後学校で再利用していただきたいと思われている保護者がいらっしゃるなら、リユースに回せるような仕組みを教育員委員会で考えていくとか、PTAの保護者の方々とご相談させていただき、良い方法があるかご意見いただくのも良いかと思うが、前橋市小学校校長会会長、そういうことでよろしいか。

前橋市小学校 校長会会長	そのとおり。制服やカバンのリサイクルをやっている。
情報教育推進 室 長	それを含めて検討していきたいと思う。
教 育 長	カバーの取り外しは学校で行われると考えてよろしいか。
情報教育推進 室 長	回収後、G I G Aスクールサポーターが取り外しをして、状況の確認をし、カバーを担当を通して返却する。その際に例えば、保護者の意思確認ができればそのままお預かりして、学校の予備として保管していただくなどの方法がありえるかと思う。
情報教育推進 室 長	(4) 各部会の今後の検討・取組内容について 資料 1 1. 1 2 を基に説明。
前橋市小学校 校長会会長	3 か月連続 1 0 0 GB 以上とあるが、1 0 0 GB が動画視聴に換算すると何時間位なのか、また、市の共通ルールは動画視聴に換算すると何時間位に該当するのか、おおよそで良いので、伺いたい。
情報教育推進 室 係 員	1 か月あたり 1 0 0 GB を超える通信量は YouTube に換算すると高画質の動画を平日 1 日 2 時間、休日に 3 時間、毎日視聴して 1 0 0 GB が目安になる。市で目安としている通信量は一月に 1 人 5 GB であるので 2 0 分の 1 程度の視聴時間となる。
前橋市小学校 校長会会長	現在、本校でも検討しているが、これは LTE 回線を使っているお子さんの使用量であり、実際 Wi-Fi 環境下にいるお子さんが何時間使っているかは分からないので、一律に学校で指導ができない。 私が感覚的に思っているのは通常の 5 GB の使用量というところ、例えば NHK for school を仮に見るとすれば 2 番組程度、1 時間は見られない、意外と少ない。内容の判断は難しいが、家で遊びではない YouTube を見ているとすれば、それほど多い利用量ではない。1 0 0 GB は多い量に感じられるかもしれないが 2, 3 時間、ゲームに時間を取られるよりは動画を見た方が良いかなという感覚で捉えているので、校内で全体の視聴時間を確認しようと思っている。Wi-Fi 環境でどれ位見ているか全くわからないので、3 学期に一度アンケートを取ってみて、市の共通ルールと合わせて、ご指導いただきながら、学校のルールを作って進めていこうかと思っている。
教 育 長	アンケート等を取った際は結果を共有いただけると大変助かる。よろしく願いしたい。 検討事項については承認いただいたということによろしいか。
	5 意見交換
前橋高等学校 事 務 長	新入生が入ってくるにあたり、現在貸与している端末からビスがなくなっていることが何件か起こっており、細かいことではあるが必要なことなので、対応しなくてはならないと思った。先程伺ったどんなケースに負担を求めるのかという事も、子供は未成年で当たり前と思っていることが分からず、壊してしまったということもこれから起こりえるとする、今は 0 か 1 0 0 であるが過失割合みたいな事も将来必要になるのか

ということも感じている。統一したルールがあればありがたいと感じている。

前橋市小学校
校長会会長

現場と教育委員会と市長部局と手を取り合いながら、やっていただけるとありがたいと思っているのでよろしく願いしたい。

前橋市中学校
校長会会長

昨年度今頃は1人1台端末導入ということで不安であったが、こんなに学校での活用が進んでこんなに便利な物だったんだと、本当にありがたいなと思っている。これも手厚いサポートのおかげだと思っている。他市町村の様子を聞いても、前橋は一步進んでいるなと思う。やらかし期というところでとにかく触らせて欲しいという教育長の方針もありがたいかつたし、家に持ち帰ることができるということが活用の幅が広がっているのだと思う。子供達を見ていると私たちをはるかに超えた想像的なクリエイティブな使い方をしていて本当にすごいなと思っている。

前橋市公立学
校教頭会会長

プログラミングソフトに掲示板みたいな物があり、本校の児童が書き込んだのではないが、そこへ由々しき書き込みが行われている案件があったので、市教委に相談したところ、すぐにフィルタリングをかけるなど、迅速にスピーディーに対応してもらい大変助かっている。今日も本校にOSのアップデートで来ており、そういったハード面で教員が苦手なところをサポートのみなさんに活躍していただき、ありがたいと思っている。またコロナの関係でオンライン授業とかそういった面でもご指導いただきながらやっていきたい。

指導担当次長

2学期に大胡中学校が台湾との交流を、タブレットを通して行った。その時に台湾の子供達が大胡中の生徒にクイズを出した。それが漢字で書かれたもので、しかも英語でやり取りをするので、大胡中の生徒達はヒントをもらうのだが返ってくるのがまた何だか分からず謎が謎を呼ぶ時間になり、どうもならない時にグループの後ろに座っていた子が漢字をタブレットに打ち込んで、いろんなものを検索し、最終的に答えを導き出した。答えは伝統的なお菓子だった。その時に私は後ろから見ていて、子供達は大人が想像する以上に機器の活用については進んでいるのだなと実感した。また、便利な機械のおかげでどこかの知らない人と交流が持てる。自分の知識が広がっていく、そういった機会にも恵まれてきている。本当に素晴らしい事だなと思いつつながら、海外研修の様子を見せていただいた。こうやって発展していきながら、子供達の端末の使い方というのがどんどん進んでいって、学びが充実していくことが現実的になると思っている。本日は学校の代表として来ていただいた校長先生、教頭先生ありがとうございました。

教 育 次 長

端末の活用という形で教頭会会長から、印刷物の配布の手間が省けてという事を伺い、市教委としてもうれしいところである。校務の負担が減っているということが現場の声として分かった。一方で、小中校長会会長から保護者に対して見て欲しいものがある際に併せておれんじめーるを出していると伺った。教育懇話会に出席した際に、子供が端末を貸してくれないので学校からの通知が見られないという保護者の方がいたが、自身のスマートフォンに設定している保護者の方やお子さんの端末で見られる方はよろしいかと思うがこのように見られないご家庭もあるとのことで、学校や市教委から見て欲しいものをどのようにして保護者の方に伝えていけば良いのかということも考えていかなければならない。また、今後の取組の参考として、どういう形で2月のアンケートで項目を設け

てできるのかなと感じ見させていただいた。学校現場と市教委の方で今回の課題についてもクリア出来れば良いと感じた。

教 育 長

4月からGIGAスクールが始まり、これほどまでに活用が広がるとは想像もしていなかった。本当に学校現場では良く使っていただいているなど感じる。一方で、使えば使うほどまた新しい課題も出てくるだろうと思っている。本日は未来創造部の情報政策課長を始め情報政策課の方にも出席いただいているが市教委、情報政策課が一緒になって、学校現場を応援していきたいと思っているので、今後ともよろしくお願ひしたい。

総 務 課 長

6 閉会

次回の委員会の開催については、事務局から改めて調整し、案内する。

以上

(正午終了)